

## N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ（粗酵素）

Cat. No. NATE-1813

Lot. No. (See product label)

### はじめに

説明 この製品は、示された酵素活性を持つもので、改竄されたE. coliから簡単に精製されました。

用途 バイオテクノロジー; 医学; 心理学

別名 N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ V;  $\alpha$ -マンノシド  $\beta$ -1,6-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ; ウリジン二リン酸アセチルグルコサミン- $\alpha$ -マンノシド  $\beta$ 1 $\rightarrow$ 6-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ; UDP-N-アセチルグルコサミン: $\alpha$ -マンノシド- $\beta$ 1,6 N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ;  $\alpha$ -1,3(6)-マンノシルグリコプロテイン  $\beta$ -1,6-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ; GnTV

### 製品情報

由来 大腸菌

外形 透明から半透明の黄色の溶液

EC番号 EC 2.4.1.155

CAS登録番号 83588-90-3

活性 未定

反応 
$$\text{UDP-N-アセチル-D-グルコサミン} + 6\text{-(2-[N-アセチル-}\beta\text{-D-グルコサミニル]-}\alpha\text{-D-マンノシル)-}\beta\text{-D-マンノシル-R} = \text{UDP} + 6\text{-(2,6-ビス[N-アセチル-}\beta\text{-D-グルコサミニル]-}\alpha\text{-D-マンノシル)-}\beta\text{-D-マンノシル-R}$$

備考 この製品は新鮮に調製する必要があるため、注文を確認してから約2週間かかります。凍結と解凍のたびに部分的な不活性化が起こる可能性があります。したがって、必要に応じて分配し、 $-20\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以下で保存する必要があります。保存期間の延長に伴い、酵素活性はある程度低下するため、製品はできるだけ早く使用するべきです。この製品は製造および保存プロセスで濁りや沈殿物が生じる可能性があります。溶解後に混合すれば通常の使用に影響はありません。この製品は科学研究用に限られ、臨床診断や治療には使用できず、食品や医薬品には使用できず、一般住宅に保管することはできません。あなたの安全と健康のために、実験用スーツを着用し、使い捨て手袋を着用してください。

### 使用法とパッケージング

包装 100ml

### 保管・発送情報

保存方法  $-20\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以下で、少なくとも1ヶ月間。